



## 【研究結果から示唆されること】

本調査から、通常の学校に学ぶ視覚に障害がある児童生徒の教科の指導に際しては、基本的な配慮がなされていることが認められました。盲学校等のセンター的機能による支援等を受けていることも影響していると思われる。一方、そうした配慮にもかかわらず、時間内での学習課題や作業を処理することや、視覚障害に対応した教科毎の配慮などに課題のあること、ノートテイクの難しさに苦慮していることなどが明らかになりました。

現在、盲学校は積極的に外部への支援を行っていますが、より充実したセンター的な機能を発揮していくためには、本調査で浮かび上がってきた小・中学校で対応に苦慮している点や支援を期待されている点にしっかり答えていく必要があると思われます。また、小・中学校から示された課題の多くは、盲学校においても課題となっている事と重なっています。盲学校が適切なアドバイスを行っていくためには、盲学校での指導においてこうした課題をしっかりと認識して実践を積み重ねていくことが大切になってきます。また、質の高い教科指導を保証していくことも大切なことです。こうした点から小・中学校での指導をも視野に入れた視覚障害のある児童生徒への教科指導に関する配慮点をわかりやすく解説する事が必要となってきます。本研究では、算数・数学に焦点をあてて、視覚に障害がある児童生徒への指導のポイントを整理しました。

## 【関連情報】

調査結果を受けて、本研究では特に算数・数学の指導を支援するための情報を取りまとめました。

### 算数数学指導に関する情報

#### 基本文献紹介

視覚障害教育に関わる算数・数学指導のための基本文献を紹介しました。

#### 実践報告データベース

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の「特別支援教育データベース」に蓄積されているデータから視覚障害教育の算数・数学指導に関連すると思われる実践報告を抽出し領域別に整理しました。

#### 教材・教具データベース

視覚障害教育に関わる教材教具情報を全国の盲学校や関連機関で共有し、相互に利用し合うために「視覚障害教育情報ネットワーク」内に「教材・教具データベース」を構築しました。

#### 立体図形学習に関する触覚教材の紹介

視覚障害児が触覚を活用して立体図形学習を効果的に行うための教材を試作し、その作成法と活用法を紹介しました。

#### 算数の指導の基本とポイント

視覚障害教育における算数指導における基本的配慮事項や教材のポイントについて、数と計算、量と測定、図形、数量関係の4領域別に整理しました。今後ガイドブックにまとめていく予定です。

本リーフレットは、研究所で行った次の研究を基に作成しています。

## 【研究課題名（研究期間）】

課題別研究「盲学校等における視覚障害教育の専門性の向上と地域におけるセンター的機能を果たすための小・中学校等のニーズに対応した支援の在り方に関する実際研究」（平成18年度～平成19年度）

## 【研究代表者／問い合わせ先】

大内 進(メールアドレス: oouchi@nise.go.jp)

研究分担者

金子 健 澤田真弓

田中良広 千田耕基

渡辺哲也

A	教科・教材の名称	算数及び算数の指導法
B	教材種別	算数・算数の指導法
C	開発者	国立特別支援教育総合研究所
D	開発された年次・単元	算数・算数の指導法
E	教材・教具の特色	算数・算数の指導法
F	開発状況	算数・算数の指導法
G	開発者	国立特別支援教育総合研究所
H	開発者	国立特別支援教育総合研究所
I	開発者	国立特別支援教育総合研究所

教材・教具データベースの表示例